

辺野古の海への土砂投入強行を許さない！

12・13 防衛省抗議行動へ！



いい加減にしる

午後6時半開始 防衛省正門前

(呼びかけ団体)

- 戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会
- 「止めよう！辺野古埋め立て」国会包圍実行委員会

○辺野古の海への土砂投入強行を許さない

政府は今年14日に辺野古の海に土砂の投入を強行しようとしています。去る1日から、国民の権利救済を目的とした行政不服審査法を悪用し県の撤回の効力を無効にし埋め立てにむけての工事を再開しています。9月の県知事選挙で示された沖縄県民の民意を踏みにじる暴挙です。辺野古新基地建設を許さない闘いは新たな局面に入りました。

○違法な民間棧橋の使用は許されない

防衛省沖縄防衛局は本部港から土砂を搬出する予定でした。しかし、同港の岸壁が台風で破損して使用出来なくなったため、本部町は沖縄防衛局の本部港の使用申請を受理しませんでした。沖縄防衛局は代わりに名護市にある民間の琉球セメントの棧橋を使用して埋め立て用土砂を運搬船に積み込む作業を行っています。この棧橋は琉球セメントが県からセメント出荷のために許可を得ているものです。埋め立て用土砂搬入のために、この棧橋を使用することは、目的外使用の違法行為でゆるされません。県は条例に基づき沖縄防衛局に使用の中止を求めています。上記の行政不服審査法の乱用という違法行為に続き、棧橋使用の違法行為は法治国家にあるまじき行為です。

○沖縄県民は絶対に屈しない、諦めない

政府が土砂投入を強行するのは、辺野古埋立の賛否を問う来年2月24日の県民投票を前に埋め立ての既成事実をつくり県民の諦め感をつくりだすのが狙いです。県民は絶対に屈しないとの決意で闘っています。又、政府が予定している大浦湾側の超軟弱地盤の改良工事も知事の許可がなければ不可能です。政府の思い通りに工事は進みません。県民が玉城知事と共に闘えば新基地建設を止めることができます。

○沖縄と全国のを一つにして辺野古新基地建設を阻止しよう

防衛省沖縄防衛局の行政不服審査法の乱用に対して、去る10月、野党5党2会派が共同での抗議、要請行動を行いました。辺野古新基地建設を許さない闘いで画期的な事です。沖縄県民の闘いを大きく勇気づけました。野党の共闘をより強固にして、市民と野党の共闘で辺野古新基地建設を許さない闘いを大きく広げて行きましょう。

多くの皆様のこの行動への参加を呼びかけます。